

3 新たな計画の政策目標と事業量

政策目標

事業量

()は前計画の値

(自給率向上に向けた食料供給力の強化の視点)

効率的かつ安定的な経営体の育成と質の高い農地利用集積

農地利用集積を条件とした区画整理等
畑地における農業用排水施設の整備

約7.5万ha (約13万ha)
約3.7万ha (約3.0万ha)

農業用排水施設のストックマネジメントによる安定的な用水供給機能等の確保

基幹的な水利施設について機能診断を実施
水路約1.5万km
機場等約1,600箇所

予防保全対策や適時適切な更新整備
畑地における農業用排水施設の新規整備

農用地の確保と有効利用による食料供給力の強化

区画整理や暗きょ排水等の整備による水田の汎用化
立地条件に応じた農地等の整備や鳥獣侵入防止施設の整備
耕作放棄地の発生防止・優良農地確保のため、地域共同活動による適切な保全管理・区画整理等
約5.0万ha (約6.9万ha)

大型機械体系に対応した草地の整備
基幹的な農業用道路の整備
各種防災事業の総合的推進
約200万ha
約3,000地区 (約4,500地区)

(田園環境の再生・創造の視点)

田園環境の再生・創造と共生・循環を活かした個性豊かで活力ある農村づくり

農村地域における田園自然環境の創造に向けた整備
約1,700箇所

- ・うち生態系のネットワークの保全 約740箇所
- ・うち良好な景観の保全・創出 約30箇所実施

田園環境の再生・創造に向けた農村生活環境施設等の整備

- ・農業集落排水汚泥のリサイクル 新たに約510地区 (約940地区)
- ・農業集落排水施設の整備 約860地区 (約1,600地区)
- ・個性豊かで活力ある農村づくりのための整備 約820地区 (約1,500地区)

減災の観点も重視した農業災害の防止による安全・安心な地域社会の形成への貢献

老朽化等に伴い緊急に対策を要するため池等の整備
約1,900地区

ため池防災情報伝達体制等の整備

(農村協働力の形成の視点) (横断的視点)

農村協働力を活かし、集落等の地域共同活動を通じた農地、農業用水等の適切な保全管理

集落等の協定に基づく地域共同活動による適切な保全管理
約3.0万協定
約200万ha

多様な主体が工事の施工に直接参加する直営施工
延べ約800地区